

普及活動情勢報告（令和8年2月分）

高吾農業改良普及所

大玉トマトの今後の管理はどうする？ ～お互いの栽培管理を比較～



データを見ながら意見交換

1月30日、普及所は大玉トマト新規就農者2名と今後の栽培管理について協議しました。
各自で記録しているかん水量や排液率、およびSAWACHIのデータ共有グループの温度データを用いて、かん水管理や温度管理について意見交換しました。
普及所と生産者で「1回のかん水量を増やしてみたらどうか」、「午前中の温度に差があるように思ったが、グラフを重ねたら同じ様に推移している」など話し合い、樹勢回復に向けて管理を見直しました。
普及所は今後もデータを活用しながら新規就農者の栽培管理技術向上に向けて支援していきます。

新規就農者・現地就農状況報告会 ～現地にて確認～



現地にて管理状況を聞き取り

2月4日、普及所は関係機関とともに越知町内の新規就農者3名の就農状況に関する個別面談及び現地の栽培管理状況の確認を行いました。
農家からは「新植したサンショウ苗木が年々成長し、主となる枝の見極めが必要になっている」、「連作ができない露地品目なのでほ場のローテーションが必要である」、「梨の剪定は昨年より段取りよく作業ができています」など栽培管理状況について積極的に意見が出されました。
普及所は農家の目標達成に向けて、栽培技術及び経営安定につながるよう指導を続けていきます。

ダイダイの安定生産を目指して～ダイダイ剪定講習会～



ダイダイ剪定講習の様子

2月20日、越知町今成地区と片岡地区でダイダイの剪定講習会が開催され、ダイダイ栽培者等8名が参加しました。越知町内では漢方薬の原料として出荷するダイダイを栽培しており、講習会では普及所が若木、中堅の木、成木別に徒長枝の処理や主枝にする枝の選び方などについて説明しました。
参加者からは「枝はどのくらい切ってもいいか」「枝が暴れないようにするにはどうしたらいいか」など、多くの質問が出されていました。
普及所は、ダイダイの生産性向上に向け、生産者が適正な樹勢管理を実践していけるように剪定技術を指導していきます。